



緑の水曜日

6月12日

Sudden Fiction Project

高階 經啓
hirotakashina

6月12日のおはなし「緑の水曜日」

わたしはセキュリティ・システムというものをすべからく愛している。セキュリティ・コンサルタントとして信頼を勝ち得て、数多くのシステムを開発して来たから？ それだけじゃない。もちろん自分の手がけたシステムへの愛情や誇りもある。けれどもわたしが愛しているのは、自分の製品に留まらない。もっと広く、あまねくセキュリティ・システム全般である。

例えば、国土安全保障省が発表する国土安全保障勧告システムの脅威レベル。「レッド」とか「オレンジ」とかで発表する、あれだ。あれは実に役に立つ。ニュースで話題になるのは「オレンジに引き上げられた」というのがほとんどだから、その他に何色があるのか正確なところはきっと知られていないだろう。まあ、だいたい想像はつくと思うけどね。脅威レベルが高い方から「深刻な脅威」のレッド、「重大な脅威」のオレンジ、「高い脅威」のイエロー、「一般的な脅威」のブルー、「低い脅威」のグリーンとなる。

このシステムでわたしが大好きなのは「脅威は常にある」ということを示しているところだ。わたしはそう思う。目に優しい穏やかなグリーンでさえ、「低い脅威」があるのだ。素晴らしい。そして何よりわたしが気に入っているのは、この国土安全保障省の脅威レベルでは手順が何も定められていないところだ。例えばこのシステムにそっくりなアメリカ国防総省のデフコン（つまり米軍の防衛体制）は、最高度のデフコン1から、平時におけるデフコン5まで、軍隊は5段階の実行すべき手順が明確に定められている。

デフコンのレベルが発令されれば軍隊は極めて具体的な対応を取るのだ。

ところが国土安全保障省脅威レベルには何の手続きも定められていない。オレンジになったと言われれば重大な脅威の存在にすごく怯え、イエローなら高い脅威に怯え、ブルーなら一般的な脅威にやや怯え、グリーンでさえ脅威が低めなことに安堵しつつ怯える。めったにないことだが、レッドなら深刻な脅威にさらされる我が身の不幸を嘆きつつこれ以上ないくらい怯えることになるのだろう。つまり人々は怯え続けるしかない。あるいは、「前のオレンジの時は何もなかったじゃないか」とシステムそのものをバカにするかも知れない。

そして一点だけ確実に刷り込まれる。それはつまり、「脅威は常にある」ということだ。

テロリストの狙いは何か知っているだろうか？ 人々に恐怖を与え、不安を生じさせ、混乱を引き起こすことだ。まともな判断ができなくなり、誤認逮捕が増え、プライバシーを手放した不自由な監視国家に転落し、経済活動が停滞し、国力が衰えてしまうことだ。国土安全保障省が発表する国土安全保障勧告システムの脅威レベルは、まさにこの目的を国家レベルで効率よく遂行してくれているわけだ。素晴らしい。脅威レベルそのものが、テロリストの最も効果的な兵器だ

と言ってもいいくらいだ。

本当に計画的で、物事を見て判断する能力があって、それをタイムリーに実行できるテロリストなら、脅威レベルが下がったところで行動に出る。当たり前のことだろう？　すると論理的にどういうことになるか。低い脅威レベルが発表された時こそ、最もテロの危険性が高まる時なのだ。これは何を意味するか。つまりこのシステムは人々を常に恐怖に陥れるべくつくられた巧妙な仕掛けになっているのだ。血を一滴も流すことなく、しかも合法的に恐怖をまき散らすシステム。これほどの兵器があるだろうか。

オレンジに引き上げられた時に逮捕者がたくさん出る。何の罪もないイスラム教徒や、宗教に関係なく中東風の顔立ちをしていたり黒い肌の持ち主が逮捕される。ブログに威勢のいい反権力的なことを書散らすネオナチや、にわかムスリムの白人青年がつかまることもある。いずれも本物のテロリストとは全く関係がない者たちばかりだ。彼らは不当に逮捕されたことをきっかけに反政府な人格が形成される。テロリストの予備軍が生まれる。素晴らしい。ここでも国家はテロの脅威をパワーアップしているのだ。

なんて素晴らしい心理テロ攻撃なんだろう、セキュリティ・システムとは！

例えば統計。月曜日はテロが多いと言う。金曜日や火曜日にも代表的なテロがある。例えば911は火曜日だし、金曜日はその名も「血の金曜日」というのがある。月曜日には日本でカルト教団が密閉された地下空間で神経ガスを撒き散らしたテロがあった。そして誰かが言う。統計的にテロの発生が少ない水曜日が次に狙われるのではないかと。おかげであらゆる曜日が恐怖に彩られる。テロが発生しやすい曜日は発生しやすいから脅威が高く、これまでテロが起きていない曜日はテロリストの狙い目ということで脅威が高くなる。

今日はグリーンで、しかも水曜日だ。

昨日ワシントンD.C.で13人の男女が逮捕され、火曜日まで発令されていたオレンジが取り下げられ、一気にグリーンになった。ホリデーシーズンで町は浮かれている。気温は低いけど天気がいい。思えば、わたしの故郷の町が多国籍軍と称する米軍の戦闘機による愚かしい誤爆と機銃掃射で破壊され尽くし、わたしの家族が、グリーンカードを取得しこちらに迎えるばかりになっていたわたしの家族が、永遠に失われたのも水曜日のことだった。あれも緑の水曜日だった。

ユナイテッド・ステイツよ。わたしは武器は使わない。毒物も神経ガスも使わない。乗っ取った飛行機を武器に変えたりもしない。わたしはただわたしの開発した新しい商品を、新品のセキュリティ・システムを発動するだけだ。人々を不安に陥れ、互いに疑心暗鬼状態となり、バラバラになっていくように。ユナイテッドが、アン・ユナイテッドに変わるように。これはね、おま

えがこれ以上暴走を続けないように止める、人類のためのセキュリティ・システムなのだと、わたしは考えているんだよ。

(「緑の水曜日」 ordered by atohchie-san/text by TAKASHINA, Tsunehiro a.k.a.hiro)

新作スタート。お題募集中。

2011年10月1日。

Sudden Fiction Projectの新作発表が始まりました。

1日1篇ペースをめざしていますが、これはどうなるかわかりません。
毎日、その日のお題を見て、いきなり書き始めていきなり書き終わる。
即興的に書くSudden Fictionをこれからお楽しみください。

お題募集中です。

「[急募！お題](#)」のコメント欄で受け付けています。
どなたでも気軽にご注文ください。初めての人、大歓迎です。

(お題の管理上、TwitterやFacebookでは見逃しがちなので、
どうか上記コメント欄をご利用ください)

それではこれからしばらく新作のシーズンをお楽しみください。

※発表済みの作品をご覧になりたい方は
「[SFPインデックス \(ただいま作成中\)](#)」
をご活用ください。

緑の水曜日

<http://p.booklog.jp/book/41429>

著者 : hirotakashina

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/hirotakashina/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/41429>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/41429>

公開中のSudden Fiction Project作品一覧

<http://p.booklog.jp/users/hirotakashina>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.